

H.U.GROUP CORPORATE PROFILE

Healthcare for You



H.U.グループホールディングス株式会社

H.U. Group Holdings, Inc.

〒163-0408 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング

TEL: 03-5909-3335 (代表)

<https://www.hugp.com>



Healthcare for You

TOP MESSAGE

Healthcare for You

私たちが、大切にすること

それは、豊かな未来をつくる

原点となる一人ひとりの健康です

人々の健康を見つめてきた私たちだからこそ、

医療の未来に変革を起こすことができる

そして、ヘルスケアに新たな可能性を

生み出すことができる

私たちは、挑み続けます

一人ひとりに最適なヘルスケアを届けることを

止まることなく、これからも

Healthcare for You

あなたの健康のために、未来の笑顔のために。



「Healthcare for You」

一人ひとりと向き合い、全ての人に最適なヘルスケアをお届けします。

1950年に「富士臓器製薬」として創業した当社は、その後、受託臨床検査、検査薬事業を中心とする企業グループとして成長を遂げてまいりました。

創業から70年を迎えた2020年には、ヘルスケアの発展に貢献する企業グループとしてさらなる飛躍をめざし、社名を“Healthcare for You”を表す「H.U.グループホールディングス」に改め、持続的成長の実現に向けて新たな一歩を踏み出しました。

新型コロナウイルスの感染拡大時にも、当社はグループとしての一体化戦略を着実に進めることによって他社に先駆けてPCR検査の受託を開始するとともに、世界初の高感度抗原検査試薬を開発・上市するなど、グループ一丸となって日本の新型コロナウイルスの感染症対策に貢献してまいりました。

一方で当社グループは、コア事業の営業・マーケティング機能および研究開発（R&D）機能の統合などにより一体化戦略をいっそう加速させることに加え、さらに強靱な体質となってイノベーションの創出をめざしグループ全体での事業構造改革を推し進めてまいりました。

今後、これらの活動をますます強化することにより、当社グループのMission「ヘルスケアにおける新しい価値の創造を通じて、人々の健康と医療の未来に貢献する」の実現に向けて前進してまいります。

今後もヘルスケアのさらなる可能性を追求していく当社グループにご期待ください。

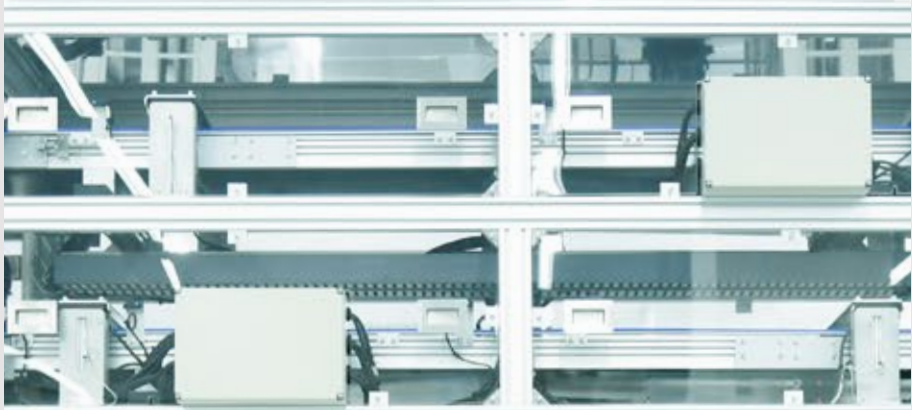
H.U.グループホールディングス株式会社
取締役 代表執行役社長 兼 グループCEO

竹内 成和

「H.U. Bioness Complex」検査ラボ棟の自動化ラインエリア

唯一無二のヘルスケア企業として
社会に貢献したい

日本と世界の医療を取り巻く環境は急速に変化しています。予防医療や看護・介護など新たなニーズが高まり、またICT（Information & Communication Technology / 情報通信技術）やDX（Digital Transformation / デジタルトランスフォーメーション）の導入により医療技術は日々進歩しています。医療のかたちそのものが大きく変わろうとするなかで、H.U.グループは、検査・関連サービス事業と臨床検査薬事業を併せ持つ、世界でも類のないヘルスケア企業として、これからも社会のために貢献し続けていきたいと考えています。



グループ体化経営で
めざす姿を実現する

グループ各社が、それぞれの持つ強みを発揮するだけでは、私たちがめざす姿を実現することはできません。「ヘルスケアにおける新しい価値の創造を通じて、人々の健康と医療の未来に貢献する」というMissionを共有し、グループの経営機能を一体化。コーポレートR&D機能と各事業会社の研究開発部門における研究開発活動も一体的に運営しています。

さらに、コア事業の資産を活用して、ヘルスケア×ICTの領域で次世代のサービスを創出し、最先端のニーズにお応えしてまいります。

事業領域を拡大し、
新たなビジネスの創造へ

私たちはこれまで、70年にわたって、感染症対策を含む、医療を中心としたさまざまな社会課題解決に貢献してまいりました。新型コロナウイルス感染症への対応では、PCR検査のみならず抗原検査の体制についてもいち早く構築。H.U.グループだから発揮できる価値を通じて、社会課題の解決に向けた努力を続けています。

そして今、「臨床検査を中心に医療を支え続けてきた存在」から一歩踏み出し、事業領域を医療からヘルスケアへ拡大しています。「一人ひとりと向き合い、全ての人に最適なヘルスケアを届けたい」という思いを新たに、最先端の新セントラルラボラトリーの稼働をはじめとする挑戦を加速し、社会のニーズを先取りした製品とサービスを提供します。



2030年とその先も、
必要な存在であり続ける

H.U.グループは2030年にありたい姿として、「人々の健康に寄り添い、信頼とイノベーションを通じて、ヘルスケアの発展に貢献するH.U.グループ」をめざします。変わりゆく医療を支える重要な社会インフラとして必要な存在であり続けると同時に、事業活動を含めた企業としてのあらゆる活動を通じて、社会課題を解決しサステナブルな社会の実現に寄与してまいります。



SALES HEADQUARTERS SOLUTIONS

営業機能を一元化した 総合的なソリューションで お客さまのさまざまな課題を解決

H.U.グループは、医療を軸とした総合ヘルスケア企業をめざし、臨床検査・滅菌のコア事業から診断・治療、さらには予防・ケア、ICTと検査をかけた地域社会インフラの確立まで、グループ会社の医療をベースとしたヘルスケア連携の強化を進めています。

2020年に誕生したH.U.フロンティアは、グループの営業機能を集約し、各社の社会貢献性の高い事業をそれぞれのお客さまに最適化。グループが持つ幅広い製品とサービスの強みを融合し、お客さまに対し総合的なソリューションを提案いたします。

H.U.グループならではの コンサルティング提案

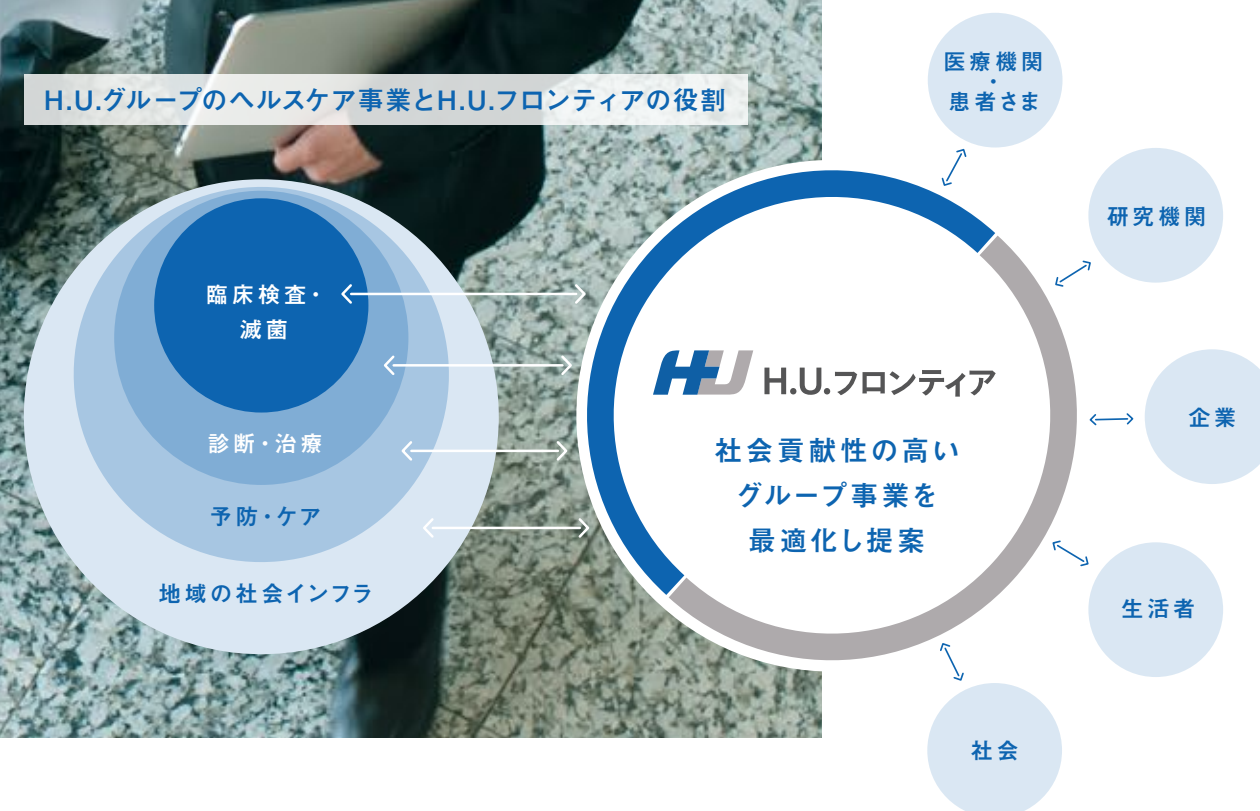
H.U.グループの持つ、検査・関連サービス事業、臨床検査薬事業、ヘルスケア関連サービス事業の三つの事業の融合から、H.U.フロンティアは新しい事業価値を提供します。例えば新型コロナウイルス対応では、抗原定量検査・抗原定性検査・PCR検査のラインアップで幅広い検査ニーズに対応しており、空港検疫では抗原定量検査が日本の水際対策に大きく貢献しています。また、主要顧客である医療機関向けに、院外の検査受託、院内検査、滅菌の総合的な受託スキームを採用いただくなど、H.U.フロンティアのコンサルタントがお客さまのニーズを踏まえたさまざまなソリューションを提案いたします。

グループ体で 顧客提供価値の最大化へ

医療を取り巻く環境が急速に変化するなか、H.U.フロンティアは、新しい生活様式で変化する人々のヘルスケアのニーズに応えると同時に、医療機関をはじめとする法人のお客さまの経営課題の解決と収益の改善に貢献します。

さらに、グループの顧客基盤を一元化して、製品やサービスに対するお客さまの評価や新しいニーズをグループ各社にフィードバック。各社が持つ高い技術力を活用した新サービス・製品の開発を加速させることで、グループ体での顧客提供価値の最大化をめざします。

H.U.グループのヘルスケア事業とH.U.フロンティアの役割



OUR VALUES

H.U.グループが提供する価値

信頼とイノベーションを通じて、健康を願う全ての人に、
最適なヘルスケアソリューションを提案します。



H.U.グループは、検査・関連サービス事業と臨床検査薬事業を有する世界的にみても稀有なグループ企業です。そこにヘルスケア関連サービス事業を加えたコア事業の拡大・強化に取り組んでいます。これらの事業活動を通じて、より高付加価値、あるいは新しい価値を創出していくことで、グループの企業価値を向上させていきます。

コア事業における検査情報のデジタル化を推進するとともに、PHR※を含むICTサービスツールを導入・推進することにより、事業を通じて得られるさまざまなデータの利活用と医療／健康情報プラットフォームの確立をめざし、ヘルスケア×ICT領域へと事業展開を進めています。

※Personal Health Recordの略。個人が自身の健康・医療に関するデータを記録し、それを自身の手元で管理するしくみのこと。

Healthcare for You

一人ひとりに、
最適なヘルスケアを。

医療機関・患者さま

検査を通じて、適切な医療を実現する橋渡し役を担っています。検査の受託から、検査薬・検査機器の開発・製造、検査室の運営管理やコンサルティングまで、総合的なサービスを通じて、その先にいる患者さまに最適なヘルスケアを提供します。



研究機関

グループのR&D（研究開発）機能を集約し、基礎研究や既存事業の分野で国内外のアカデミアや研究機関とのオープンイノベーションを進めていくことで、新たな製品・サービスを開発します。



企業

ヘルスケアとICTの融合や、製薬企業の新薬開発への貢献、ヘルスケア企業との連携など、これまでの常識にとらわれない事業開発を進めます。



生活者

病気の早期発見や、「未病」段階でのケア、「予防」「セルフメディケーション」など、一人ひとりの健康を支える事業を創出します。



社会

製品の開発と新しい価値の創造を通じて、健康で豊かな社会づくりと世界の医療に貢献します。



LTS

検査・関連サービス事業

LAB TESTING
AND ITS RELATED
SERVICES



品質管理

エスアールエルでは、患者さまのケアを最優先とする品質マネジメントシステムを整備し、検査品質の向上に努めています。

取得年	認証 / 認定	対象施設（ラボラトリー）
1987年	CAP 認定	八王子、MUQS、相模原、セントラル（計4ヵ所）
2005年	ISO 15189 認定	八王子・MUQS・セントラル、相模原（計2ヵ所）
2015年	CLIA 認定	セントラル（計1ヵ所）

半世紀にわたり
医療機関へ総合的な検査サービスを提供



総合サービスを
全国的に展開



高い技術力・
学術力・受託体制



ヘルスケア×ICT
による新サービス

全国規模のネットワークを保有する 日本最大級の臨床検査センター

エスアールエルでは、全国の医療機関から毎日20万件以上の検査を受託しています。検査結果を早く正確にお届けするため、集荷体制を整備し、検体をお預かりする際の保存温度別輸送BOXやラボラトリーオートメーションなどを独自に開発。新型コロナウイルス感染症関連の検査においても、いち早く受託体制を構築しました。また、全国各地の地域ラボラトリーや営業拠点ネットワークを通じて、地域医療へよりいっそう貢献するための充実した検査サービスを提供しています。

先進医療への取り組み

医療の高度化にともない、プレジジョン・メディシン（患者さまの遺伝子情報な

どを含む詳細情報をもとに行う個別化・最適化された医療）に欠かせないコンパニオン診断関連検査やゲノム解析など、先進医療を支える検査サービスを他社に先駆けて導入することにも努めています。

グローバルな医薬品の 研究開発をサポート

約30年の実績と経験を持つ治験検査フルサポートを通じて得られた専門知識や高度な技術、そして国内およびアジア・グローバルのネットワークを活用し、臨床試験ならびに臨床研究を総合的にサポートしています。検体検査の精度はもちろん、治験開始前のセットアップおよび検体の集荷からラボラトリーへの搬入、測定、結果報告、データ管理まで一貫したトレーサビリティのもと、高品質なサービスを提供しています。

グループ内CRO（Contract Research Organization）との連携においても、臨床試験／研究の入口から出口までをトータルにサポートしていきます。

DXを推進し、企業と生活者に 新たなサービスを

DXを推進し、企業や生活者向けのソリューションの充実にも取り組んでいます。健康・医療サービスのデジタルプラットフォームを提供する医針盤、セルフメディケーションや疾病予防、健康増進の取り組みを通じて、幅広い世代の生活者に最適なヘルスケアをお届けするH.U.ウェルネスなど、ユニークな事業を展開するグループ会社の総合力で、ヘルスケアとICTの融合による新たなサービスを提供します。



IVD

臨床検査薬事業

IN VITRO
DIAGNOSTICS



品質管理

富士レビオでは、開発・製造活動の成果として生み出された製品が最高水準の品質であることを保証すべく、日々品質活動の向上に努めています。

取得年	認証 / 認定	対象施設
2001年	ISO 13485 認証取得	本社、八王子事業所（八王子第3工場を含む）、相模原工場、十勝帯広工場、宇部工場、旭川工場、厚木愛川物流センター（国内全8事業所）

25年以上、検査現場をサポートする「ルミパルス®」シリーズ



25年以上、検査現場をサポートする「ルミパルス®」シリーズ

全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス」シリーズは、その品質および性能の高さをはじめ、感染症やがん、生活習慣病などの疾患に対応できる幅広い試薬ラインアップやオリジナル性の高い試薬項目により、25年以上にわたり医療機関や検査センターから高く評価いただいています。国内外で2,000台以上の「ルミパルス」が世界の医療機関や検査センターを支えており、名実ともに“世界のルミパルス”となっています。

国内では2017年より、高い処理能力を持つ「ルミパルスL2400」を生化学自動分析装置との連結検査装置として展開。検査の迅速化・効率化に貢献していきます。

グローバル体制とOEM事業の強化

H.U.グループでは、現在、100カ国以上の国へ幅広い製品・サービスを提供しています。臨床検査薬事業全体を統括する富士レビオ・ホールディングスは、世界をリードする製品群をいち早く提供すべく、グローバル戦略の実行スピードを加速していきます。また、感染症を長年検査してきた強みを活かして、新型コロナウイルスの抗原検査試薬も早期に開発しました。

米国子会社では、世界水準レベルのがん検査製品の開発・生産や、検査薬の原材料供給を、ベルギーの子会社では、アルツハイマー領域におけるパイオニアとして検査薬の開発・生産も行っています。

また、富士レビオ・ダイアグノスティクス・



ルミパルス®L2400とBioMajesty™ ZERO JCA-ZS050の連結検査装置「フュージョンプラス®」

ジャパン、Fujirebio Diagnostics、Fujirebio Europeの3極体制によりOEM事業を推進・強化していきます。

迅速診断キット「エスプライン®」シリーズ

富士レビオは1997年に迅速診断キット「エスプライン」シリーズを発売。特別な検査機器を要さず、簡便かつ短時間で結果を得られることから、インフルエンザ、B型肝炎および新型コロナウイルスなどの迅速診断キットとして病院・クリニックなどで広く活用いただいています。



ルミパルス® G1200 Plus

ルミパルス® G600II

ルミパルス®試薬

インフルエンザウイルスキット
エスプライン®
インフルエンザA&B-N

新型コロナウイルスキット
エスプライン®
SARS-CoV-2

HS

ヘルスケア関連サービス事業

HEALTHCARE-RELATED
SERVICES



品質管理

日本ステリでは、高品質なサービスの提供と活動の透明性、および活動記録のトレーサビリティ向上をめざして、滅菌センターにおける品質マネジメントシステムを構築しています。

取得年	認証 / 認定	対象施設
2003年	ISO 9001:2015	大和センター、日の出センター

ワンストップのトータルサポートで
病院と福祉・介護業務の
効率的な運営を支援



手術器材カウント作業



病院業務の効率的な
運営を支援

日本ステリは、病院内の中央材料室における院内滅菌、自社センター内（全国8ヵ所）での院外滅菌を中心に、手術業務支援や内視鏡室支援サービス、医療機器保守点検、院内物流管理搬送サービスなど、病院経営に関わる重要な業務をサポートすることで、医師や看護師のみなさまが医療に専念できる環境づくりに貢献しています。

メディカルパートナーとして、お客さまのさまざまなニーズにお応えするため、人

材育成と品質向上活動に力を注ぎ、最新の医療に対応できるプロフェッショナル技術者集団を形成して、専門性の高い技術力を提供しています。

高齢者に安全・安心な
福祉用具を提供

ケアレックスでは、指定福祉用具貸与事業者さま（福祉用具レンタルショップ）を通じて、高齢者のみなさまに安全で安心な福祉用具を供給する「レンタル卸事業」を行っています。福祉用具の洗浄、消毒、整備という一連の業務を担い、安全かつ最良の品

質で大きな安心をパートナーである指定事業者や利用者の方々へお届けします。

住み慣れた場所で
最期まで豊かな生活を

これからの医療は、治す医療から治し支える医療へ、病院中心の医療から地域全体でみていく地域完結型の医療へと変わっていきます。ケアレックスは訪問看護を中心とした在宅サービス事業を通じて、個々人が住み慣れた場所で最期まで豊かに生活できるよう、利用者・家族の方々に寄り添い全力で支えます。



センター内洗浄作業



一体的な研究開発でイノベーションを創出

H.U.グループでは、つねに未来の医療・ヘルスケアのあるべき姿を想像し、新たな価値の提供をめざした研究開発（R&D）に取り組んでいます。

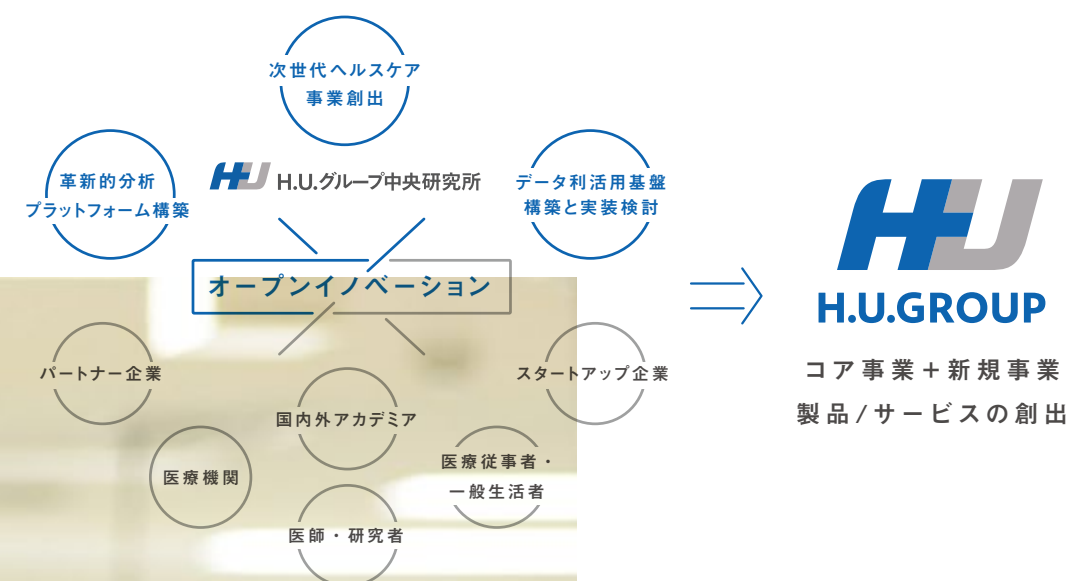
グループR&D機能の統合により、H.U.グループのコアレーテッドR&D機能であるH.U.グループ中央研究所と各事業会社の研究開発部門における研究開発活動を一体的に運営することで、グループ全体最適でのR&D戦略を推進し、グループにおける知の共有を図ります。



H.U.グループ中央研究所では、将来の事業シーズとなる基盤研究を担います。グループ内外の企業、医療機関、大学などの協業を推進し、イノベーションを創出することで、次世代のグループ成長を支える新事業・技術の創出や事業の革新など、中長期的成長の実現をめざします。

各事業会社の研究開発部門においては、創業以来培われてきた技術基盤をさらに深化させ、製品・サービスの更新・改良に取り組むとともに、H.U.グループ中央研究所との一体的な研究開発活動により、新しい技術の機動的な導入および競争力の高い製品・サービスの開発を加速させていきます。

RESEARCH & DEVELOPMENT



H.U.グループ中央研究所のミッション

革新的分析プラットフォーム構築

新規検査技術の探索や、小型で迅速な分析を可能とする検出原理の確立により、先進医療を支える技術基盤の構築をめざしています。

次世代ヘルスケア事業創出

免疫、マイクロバイオーム、次世代治療モダリティなどの新たな研究領域を開拓し、次世代ヘルスケア（予防医療、個別化医療など）を実現する事業の創出をめざしています。

データ利活用基盤構築と実装検討

医療機関との共同研究による医療情報、当社グループの各種サービスから生み出されるビッグデータを活用したAI、バイオインフォマティクス、ロボティクス研究を実施し、独自の研究基盤構築を進めています。



H.U. Bioness Complex

愛称：AkirunoCube

施設概要	
所在地	：東京都あきる野市
敷地面積	：約122,000㎡（約3万7千坪）
延床面積	：約66,000㎡（検査ラボ棟・R&D棟・管理棟・厚生棟合計）
免震・耐震	：免震構造（検査ラボ棟・R&D棟）、耐震構造（管理棟・厚生棟）

H.U.グループの新しい中核施設、始動。

これまで以上の圧倒的な技術力と効率性を備えた、最先端の検査ラボラトリーを含む新施設「H.U. Bioness Complex（愛称：AkirunoCube）」を、2022年、東京都あきる野市に開設。

施設・機能に求められる6つの条件を兼ね備えた新施設で、その設計コンセプトは「つなぐ・みせる・はぐくむ」。幅広い基礎研究や製品・サービスの開発はもちろん、環境への取り組みやBCP対応といった社会的責任も果たしていきます。

施設・機能に求められる“6つの条件”

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| ①自動化の追求 | 検査品質の向上
検査スピードの向上
コスト低減、省力化 |
| ②IT、AIの活用 | |
| ③効率的な動線 | |
| ④免震・耐震構造 | BCP対応 |
| ⑤研究開発の充実 | 将来の事業成長 |
| ⑥福利厚生の充実 | 働きやすい
職場環境の整備 |

災害時も検査を継続できるBCP※対策

検査ラボ棟とR&D棟の免震構造に加えて、非常用発電機や受水槽も備え、災害時も3日間（72時間）の検査継続が可能です。

※Business Continuity Plan（事業継続計画）の略。災害などの緊急事態が発生した際、企業が損害を最小に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。



非常用発電機

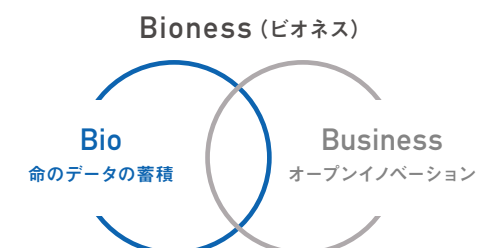


受水槽

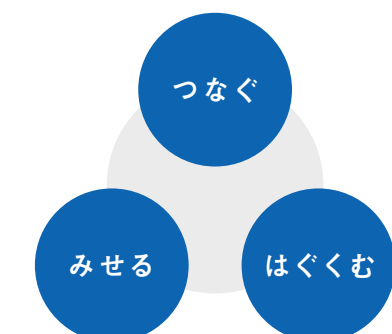
H.U. Bioness Complex

H.U. Bioness Complex

H.U.グループの「ヘルスケアビジネスの複合体」という意味を込めています。“Bioness（バイオネス）”は、“Bio（命のデータの蓄積）”と“Business（業界にイノベーションを起こす創造力）”を表現した造語です。



設計コンセプト



SUSTAINABILITY

事業活動を通じた社会課題の解決

国連グローバル・コンパクトへの参加と

SDGsへの貢献

国連グローバル・コンパクトへの参加

H.U.グループは、2019年3月15日、国際社会において持続可能な成長を実現するための世界的な取り組みである国連グローバル・コンパクト（UNGC）に参加しました。「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野からなる国連グローバル・コンパクト10原則を支持しています。当社グループは、国連グローバル・コンパクトの日本のローカル・ネットワークである「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」（GCNJ）の活動に参画しています。GCNJでは、他社の実践や学識経験者から学び、サステナビリティの考え方や取り組みについての議論・情報交換を行うテーマ別の分科会活動を行っています。当社グループの関係部署より毎年10名以上がさまざまな分科会に参加しています。

WE SUPPORT



SDGsへの貢献

当社グループは、本業を通じて社会課題の解決に取り組み、以下4つのSDGsターゲットの達成に貢献します。

SDGsターゲット



(3.8) すべての人々に対する財政保障、質の高い基礎的なヘルスケア・サービスへのアクセス、および安全で効果的、かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンのアクセス提供を含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。



(8.2) 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上およびイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。



(9.1) 質が高く信頼できる持続可能かつレジリエントな地域・越境インフラなどのインフラを開発し、すべての人々の安価なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援する。



(12.5) 2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。

サステナビリティ目標

サステナビリティ・ロードマップ（2020年度—2022年度）

H.U.グループは2020年9月18日に新中期経営計画「H.U. 2025」を公表し、新たなステージを歩んでいます。サステナビリティにおいては、2019年度に「サステナビリティの考え方」を一新するとともに、環境・社会領域における延べ10の関連方針を整備しました。そして、2020年10月には2020年度から2022年度までのサステナビリティに関わるKPIおよび3カ年目標を「サステナビリティ・ロードマップ」として定め、公表しました。

サステナビリティの考え方

H.U.グループは、「Mission」「Vision」「価値観・行動様式」を理念体系として定め、これに基づく企業活動を通じてサステナビリティが実現できると考えます。この活動により社会課題の解決に取り組み、幅広いステークホルダーと良好な関係を構築いたします。

H.U.グループ サステナビリティ・ロードマップ 3カ年目標（2020年度—2022年度）

定量的目標



環境

- CO₂：7%削減（2017年度比）
- リサイクル率：15%向上（2017年度比）
- CDP：B評価以上



人権・人材

- 課長以上の女性管理職：20%
- ホワイト500の取得*



調達

- UNGCセルフアセスメントツール、優良回答群（A）：90%

定性的目標



社会貢献

- 臨床検査の普及啓発 継続40年



コミュニケーション

- ESG説明会の開催 第1回



BCP

- H.U. Bioness Complexの稼働（高いレジリエンスの実現）

※H.U.グループは健康経営を推進しています。

H.U.グループ 環境長期目標

（2020年度—2030年度）

H.U.グループは、パリ協定などの世界が推進する2℃シナリオおよび大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを踏まえ、2030年度に向け、CO₂排出量の削減および廃プラスチックのリサイクル率に関する長期目標を策定しました。

H.U.グループの、さらに詳しいサステナビリティについては、公式ウェブサイトをご覧ください。



H.U.グループ 環境長期目標

（中間：2020—2030）

CO₂ (Scope1・2) の
排出量 総量

CO₂
25% 削減
(基準:2020年度比)

主要事業所の廃プラスチック
リサイクル率

90%

（最終：2050）

CO₂ (Scope1・2) の
排出量

CO₂ ネットゼロ

主要事業所の廃プラスチック
リサイクル率

100%

OUR NETWORK

H.U.グループは、臨床検査薬事業において、アメリカ・ヨーロッパ・アジアなどに拠点を構え、世界100ヶ国以上に、幅広く製品・サービスを提供しています。

また、検査・関連サービス事業においては、中国にて合弁会社を設立し、高品質な検査サービスを提供しています。

H.U.グループは、グローバル展開を加速させ、世界中の人々へ最適なヘルスケアをお届けします。



グローバル展開

① Fujirebio Diagnostics AB 〈Sweden〉



② Fujirebio Germany GmbH

③ Fujirebio Europe N.V. 〈Belgium〉



④ Fujirebio France SARL

⑤ Fujirebio Italia S.r.l.

⑥ Fujirebio Iberia S.L.U. 〈Spain〉

⑦ CanAg Diagnostics (Beijing) Co., Ltd.

⑧ Fujirebio China Co., Ltd.
[瑞必欧(上海)诊断技术有限公司]

⑨ 深圳平安好医医学檢驗實驗室
[Ping An SRL Medical Laboratories] 〈China〉

⑩ SRL (Hong Kong) Limited
[愛需利香港有限公司]

⑪ Baylor Genetics 〈US〉

⑫ Fujirebio Diagnostics, Inc. 〈US〉
Fujirebio US, Inc.



事業領域とグループ展開

● H.U.グループホールディングス株式会社

HU H.U.GROUP

● H.U.フロンティア株式会社

HU H.U.フロンティア



H.U.グループホールディングス
(新宿三井ビルディング)

検査・関連サービス事業

- 株式会社エスアールエル
- 株式会社日本医学臨床検査研究所
- 株式会社北信臨床
- 株式会社エスアールエル北関東検査センター
- 株式会社エスアールエル・インターナショナル
- 合同会社クリニカルネットワーク
- H.U.ウェルネス株式会社
- 株式会社医針盤
- 株式会社日本食品エコロジー研究所
- 株式会社エスアールエル・メディサーチ
- H.U.セルズ株式会社
- 株式会社KBBM
- エスアールエル・静岡がんセンター共同検査機構株式会社
- 株式会社聖路加エスアールエル先端医療研究センター

臨床検査薬事業

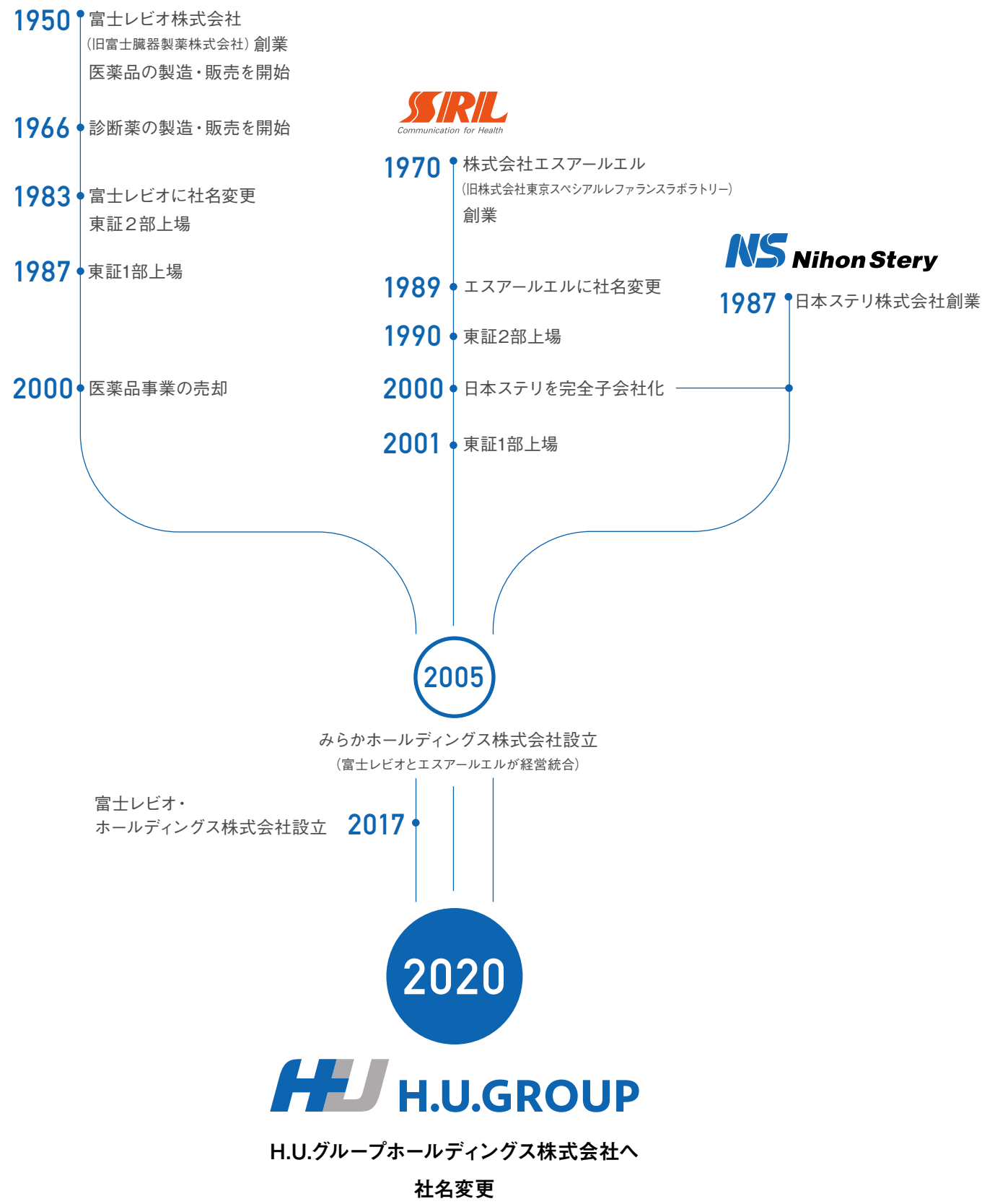
- 富士レビオ・ホールディングス株式会社
- 富士レビオ株式会社
- 株式会社先端生命科学研究所
- 富士レビオ・ダイアグノスティクス・ジャパン株式会社

ヘルスケア関連サービス事業

- 日本ステリ株式会社
- ケアレックス株式会社
- 合同会社H.U.グループ中央研究所
- H.U.キャスト株式会社
- メディコフロンティア合同会社
- MSFキャピタルパートナーズ合同会社

HISTORY

H.U.グループの沿革



CORPORATE PROFILE

会社概要

会社名
H.U.グループホールディングス株式会社
H.U. Group Holdings, Inc.

本社所在地
〒163-0408
東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビルディング
TEL: 03-5909-3335 (代表)
代表執行役社長 兼 グループCEO
竹内 成和

設立
1950年12月18日

資本金
9,231百万円 (2022年3月末現在)

従業員数 (連結)
5,444名 (2022年3月末現在)

経営体制
指名委員会等設置会社

主要子会社
株式会社エスアールエル、富士レバイオ株式会社
日本ステリ株式会社

役員 (2021年6月22日現在)

取締役		
取締役	社外取締役	
竹内 成和	青山 繁弘	
北村 直樹	天野 太道	
	伊藤 良二	
	白川 もえぎ	
	宮川 圭治	
	山内 進	
委員会を組織する取締役		
指名委員会	監査委員会	報酬委員会
青山 繁弘 (委員長)	天野 太道 (委員長)	伊藤 良二 (委員長)
伊藤 良二	白川 もえぎ	宮川 圭治
竹内 成和	宮川 圭治	山内 進
執行役		
代表執行役社長 兼 グループCEO		執行役
竹内 成和		東 俊一
執行役常務		石川 剛生
北村 直樹		清水 俊彦
		村上 敦子
		小見 和也
		長谷川 正
		木村 博昭